



真美中だより

令和6年度
12月号
令和6年12月2日発行
発行者 校長 西畑



めざす生徒像

☆基礎・基本を定着させ、自ら学び考えて行動できる生徒（確かな学力）
☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく社会参画できる生徒（豊かな心）
☆明るく元気でたくましく心身を鍛える生徒（たくましい心身）

校訓

学び鍛える人たれ
明るく優しき人たれ
耐え忍べる人たれ

2学期のまとめとともに三者懇談をよろしくお願いします！

早いもので2学期も残すところ3週間程になりました。子どもたちは様々な学校行事や日々の学習を通して一回りも二回りも大きく成長してくれたと感じています。特に、体育大会やコーラスフェスティバルなどの大きな学校行事では、一人一人の力が結集して集団の力となり、その力が真美中の学校力として発揮されたことに、教職員全員が満足しています。子どもたちはこれからもすべての学校教育活動に積極的に取り組み、もっともっと成長を続けていくと思いますので、今後も「子どもたちのために」を合い言葉に頑張っていきたいと思ひます。

11月末で期末テストが終わり、それぞれの学年では2学期の学習をまとめる時期になりました。子どもたちにとっては、4月からの学習や学校生活及び2学期を振り返り、来年に向けた目標を設定する時期でもあります。18日(水)からは三者懇談が予定されています。保護者の皆様も各担任と一緒に子どもたちの成長のために、この2学期を振り返ってほしいと思います。その上で、頑張った部分はしっかりと認め、課題のある部分は来年に向けた取組として見極めるとともに、その対応について話し合ってもらいたいと思っています。子どもたちにとって、保護者の皆さんのちょっとした声かけや励ましが大きな力になると思いますのでどうかよろしくお願いいたします。特に、3年生にとっては高校入試に向けて、進路を決定するとても大事な懇談となります。何とぞよろしくお願いいたします。



新たな生徒会が発足！

10月31日(木)の6限目に生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。会長、副会長、書記会計に合計8名の立候補があり、それぞれの候補者が体育館で、選挙公約を盛り込んだ演説を行いました。これまでの生徒会の活動を継承しつつ、真美中生のために新たな取組をやりたいという熱い想いがそれぞれの候補者から伝わってきました。他の生徒はそれぞれをしっかりと聞き、候補者が終わりに「ご清聴ありがとうございました。」と締めくくった後、あたたかい拍手を送っていました。2年副会長・書記会計は定数内の立候補であったため、無投票になりましたが、会長と1年副会長は定数以上の立候補があったため、投票となりました。翌日の朝の会で選挙管理委員会から結果の発表を行い新役員が全員決定しました。



11月6日(水)にはテレビ放送による認証式および旧役員の離任式を行いました。認証書を受け取る時の新役員の人たちの目は「頑張るぞ」という意欲に溢れていました。旧役員の人たちが一人ずつ1年間を振り返り、自分の気持ちをまとめた立派な挨拶をして新役員の人たちにバトンタッチしました。

赤い羽根共同募金！

11月14日(木)・15日(金)の2日間、新生徒会役員が中心となって、募金活動を行いました。赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」として、取り組まれています。たくさんの募金へのご協力、ありがとうございました。



12月 学校行事等

12月 DECEMBER

SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
1	2	3 3年学力診断テスト 鉛筆5限下校 清掃なし	4	5	6	7 たいせつ 大雪
8	9	10 50分×4限 部活動なし	11 県SC	12 3年給食終了後 下校 1年人権教育講演会 町SC	13 ワックスかけ 性の多様性講演会 心	14
15	16 給食最終日 45分×4限	17 45分×3限	18 三者懇談(午後) 45分×3限	19 三者懇談(全日)	20 三者懇談(全日)	21 とうじ 冬至
22	23 第2学期終業式 交通安全教室 大掃除・学活 町SC	24 冬期休業開始	25	26	27	28
29 年末年始休日 (学校閉庁)	30 年末年始休日 (学校閉庁)	31 年末年始休日 (学校閉庁)				

県SC……北野先生 町SC……松本先生、松村先生 心(心の相談員)……小西先生

今月の一言

やさしい言葉は、たとえ簡単な言葉であっても、
ずっとずっと心にこだまする。

マザー・テレサ(1910~1997)

「神の愛の宣教者修道士会」を設立し、インドの貧しい子供たちに教育を受けさせた。また、末期の病状の人が安心して旅立てるよう「死を待つ人々の家」というホスピスも開設。カトリック教会の修道女でありながら、キリスト教の枠組みを超えて活動したことが高く評価されている。1979年ノーベル平和賞受賞。

